



# DAN<sup>®</sup>エクセル

〈適用上塗りラインナップ〉

水性タイプ

DANエクセル水性フッ素 中塗/上塗 DANエクセル水性シリコン 上塗  
DANエクセル水性ウレタン 上塗

弱溶剤タイプ

高弾性ファイン4Fセラミック  
高弾性ファインシリコンフレッシュ

## 特長

### ① JISA6021に合格

DAN エクセル中塗 J は建築用塗膜防水材の規格である JIS A 6021 に合格した高品質の防水形仕上げ材で、長期にわたり躯体を強力に保護します。

### ② すぐれた防水性

主成分であるアクリルゴムは造膜性にすぐれ、均一でシームレスな塗膜で雨水や炭酸ガスをシャットアウトします。

### ③ 多彩な意匠を演出

吹付けやローラー工法により4つの仕上がりパターンが選べるうえ、多様なラインナップの上塗り選択が可能です。

### ④ 抜群の耐久性

耐候性にすぐれた上塗りとの組み合わせにより厳しい自然環境下でもすぐれた耐久性を発揮します。

## 用途

マンション、教育施設、病院、ホテル、ビル、商業施設、工場等の外壁。

## 適用下地

●コンクリート面(現場打ち) ●モルタル仕上げ面 ●ALC パネル面  
●塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜)

## 標準塗装仕様例 新築

工程	製品名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物を、ワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ファイン浸透シーラー (透明/ホワイト)	1~2 注)	0.16~0.20	4時間以上 5日以内	無希釈	-	はけ/ウールローラー / エアレススプレー
	水性カチオンシーラー透明		0.10~0.16	4時間以上	無希釈	-	はけ/ウールローラー
	水性カチオンシーラー ホワイト				水道水	0~10	

注) めれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。

### ●凹凸・ヘッド押さえ(キャスト) 模様 「素地調整・下塗り」工程は、上記参照ください。

中塗り	主材	ベース吹き	模様吹き	製品名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
中塗り	主材	ベース吹き	模様吹き	DAN エクセル中塗 J	1	1.70~2.10	4時間以上	水道水	4~7	タイルガン
		ベース吹き	模様吹き	DAN エクセル中塗 J	1	0.60~1.00	16時間以上	水道水	0~2	タイルガン
(ヘッド押さえ) 押さえ用ローラーに、塗料用シンナー A をつけて、模様吹き直後凸部を押さえる。										

※ゆず肌(ライトウエーブ) 模様も可能ですが、塗装仕様の詳細につきましては、事前に必ず当社営業まで相談いただけますようお願いいたします。

### ●なみがた模様 「素地調整・下塗り」工程は、上記参照ください。

中塗り	主材	ベース吹き	模様吹き	製品名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
中塗り	主材	ベース吹き	模様吹き	DAN エクセル中塗 J	1	0.80~1.00	4時間以上	水道水	2~3	砂骨ローラー
		ベース吹き	模様吹き	DAN エクセル中塗 J	1	0.80~1.00	16時間以上	水道水	2~3	砂骨ローラー
各種 上塗り	弱溶剤フッ素	弱溶剤シリコン	高弾性ファイン4Fセラミック	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用 シンナー A	0~10	はけ/ウールローラー	
		高弾性ファインシリコンフレッシュ	5~10					エアレススプレー		
	水性	水性フッ素	DAN エクセル水性フッ素中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	はけ/ウールローラー / エアレススプレー	
		DAN エクセル水性フッ素上塗	1							
		水性シリコン	DAN エクセル水性シリコン上塗	2						
水性ウレタン	DAN エクセル水性ウレタン上塗	1								

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

※塗り替えで下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施してください。

※塗り替え時のシーラーは水系の水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系のシーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤膨れを発生することがあります。

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。

## 製品体系

工程	製品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積/缶当たり/1工程	ポットライフ (23℃)	
主材	DANエクセル中塗J	水性アクリルゴム系高弾性壁面化粧防水材 (JIS A6021 建築用塗膜防水材 外壁用アクリルゴム系)	18kg	白	つや消し	5~11 m <sup>2</sup> (2工程)	-	
上塗り材	水性	DANエクセル水性フッ素中塗	DAN エクセル水性フッ素専用中塗塗料	15kg	各色	つや有り	88~107m <sup>2</sup>	-
		DANエクセル水性フッ素上塗	1 液水性反応硬化形フッ素樹脂塗料	15kg	各色	つや有り	88~107m <sup>2</sup>	-
		DAN エクセル水性シリコン上塗	1 液水性反応硬化形シリコン樹脂塗料	15kg	各色	つや有り	88~107m <sup>2</sup>	-
		DAN エクセル水性ウレタン上塗	1 液水性反応硬化形ウレタン樹脂塗料	15kg	各色	つや有り	88~107m <sup>2</sup>	-

※上記に記載されている1缶当たりの塗り面積は、1工程当たりの塗り面積です。また、あくまで目安であり、素地の形状、塗装方法により増減しますので、あらかじめご了承ください。

※2液形塗料は、塗料液に硬化剤を加えてかくはんし、ポットライフ以内に使用してください。

※上塗りの適用はつや有りのみとなります。

※上塗りに高弾性ファイン4Fセラミック、高弾性ファインシリコンフレッシュを用いる場合、それぞれ、高弾性硬化剤をご使用ください。

# 性能

## DAN エクセル中塗 J (JIS A 6021 建築用塗膜防水材 外壁用アクリルゴム系)

試験項目		性能	合 否	
引 張 性 能	引張強さ (N/mm)	1.3 以上	合 格	
	破断時の伸び率 (%)	300 以上	合 格	
引 列 性 能	破 裂 強 さ (N/mm)	6.0 以上	合 格	
	温度依存性	引張強さ比 (%)	試験時間温度 -20℃	100 以上 400 以下
試験時間温度 60℃			30 以上	合 格
破断時のつかみ間の伸び率 (%)		試験時間温度 -20℃	70 以上	合 格
		試験時間温度 23℃	180 以上	合 格
		試験時間温度 60℃	150 以上	合 格
加熱伸縮性		伸 縮 率 (%)	-1.0 以上 1.0 以下	合 格
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加 熱 処 理	80 以上 150 以下	合 格
		促 進 暴 路 処 理	80 以上 150 以下	合 格
		ア ル カ リ 処 理	60 以上 150 以下	合 格
	破断時の伸び率 (%)	加 熱 処 理	200 以上	合 格
		促 進 暴 路 処 理	200 以上	合 格
		ア ル カ リ 処 理	200 以上	合 格
伸び時の劣化性状		加 熱 処 理	いずれの試験体にもひび割れおよび著しい変形を認めない。	合 格
		促 進 暴 路 処 理		合 格
		オ ゾ ン 処 理		合 格
付 着 性 能	付着強さ (N/mm)	無 処 理	0.70 以上	合 格
		温 冷 繰 り 返 し 処 理	0.50 以上	合 格
対疲労性能			いずれの試験体にも塗膜の穴あき・裂け・破断のない。	合 格
たれ抵抗性能	たれ長さ (mm)		いずれの試験体も 3.0 以下。	合 格
		しわの発生	いずれの試験体にも認めない。	合 格
固形分 (%)			表示値±3.0	合 格

\*記載の各試験は JIS A 6021 に準拠。

## 施工上の注意事項 ニッペDANエクセル中塗J (下記の表示は一例です。詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

1. フィラーを薄層仕様に用いる場合に、強溶剤系塗料を上塗りするとリフティングのおそれがありますので適量を避けてください。
2. 高熱されやすい建材 (軽集モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など) を使用した「高熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が影射していることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
3. 改修の場合には、水性カチオンシーラーをお使いください。
4. 規定の希釈率を超えたり、規定の使用量以下で塗装した場合は、期待する弾性機能が発揮されないおそれがあります。
5. 弾性塗料は塗膜がのびることでクラック追随性はありますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を超える震動、従来の壁と違った特殊構造 (特殊耐力) などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。
6. 塗膜の伸長性は中塗りの使用量によって異なりますので、中塗りは規定の使用量を塗装してください。
7. 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
8. 本品の上塗りに弾性適性のある上塗り以外の塗料を使用しますと、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下するおそれがあります。
9. 下地の状態や形状、面積、塗料温度、塗装条件などによって、見本と色調および模様の変異を生じる可能性がありますので、塗装前に試し塗りを行ってください。
10. 仕上がり模様は、事前に試し塗りを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
11. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
12. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などが発生した場合、低温、高湿度、通風の悪い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
13. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
14. スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
15. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
16. 動物はけは、はけが固まったりタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
17. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄など必ず除去し、清浄面としてください。付着阻害をおこなっておく必要があります。
18. 既存塗膜はく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパタン合わせを行ってください。
19. 高圧洗浄機・吸込みの著しい下地では、ニッペファイブ浸透シーラーをご使用ください。
20. シーリングの上、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
21. 素地表面のアルカリ度は pH10 以下、表面含水率は 10% 以下 (ケツ科社製 CH-2 型で測定した場合)、または 5% 以下 (ケツ科社製 HI500 シリウス: コンクリートレンジで測定した場合) の条件で塗装してください。
22. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタスなどは除去し、目連い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平潤にしてください。
23. 多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において集水や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材 (ニッペセメントフィラー、ニッペファイバー 200) などで処理してください。(合成樹脂エマルジョン(パテ)の使用は避けてください。)
24. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
25. 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
26. 新設の押出成形セメント板、GRC 板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペファイブ浸透シーラーをお使いください。
27. 開缶後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
28. 塗装場所の気温が 5℃ 未満、もしくは湿度 85% 以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
29. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
30. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
31. ロール塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
32. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、取縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ねることを確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、取縮割れが起こることがあります。
33. 薄めすぎは膨れひび割れ、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
34. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
35. ロール塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
36. 汚れ、きずなどにのみ補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
37. ロール塗り、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でください。
38. 塗料は内容物が均一になるようによく混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて底層の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。
39. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵で保存し、速やかに使い切ってください。
40. 塗料の乾燥の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
41. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項 ニッペDANエクセル中塗J

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
3. 熱/火/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
4. 容器を密閉してください。
5. 容器および受容器を接地してください。
6. 防塵用の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
7. 火花を発生しない工具を使用してください。
8. 粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
9. 必要な時は、環境への放出を避けてください。
10. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
11. 取扱い後は、手洗いおよびうがいをご用ください。
12. 適切な使用手段/保護眼鏡/保護面罩/保護衣を着用してください。
13. 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
14. 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
15. 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
16. 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
17. 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り換えてください。皮膚を流水でシャワーで洗ってください。
18. 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
19. 取り扱った後、手を洗ってください。
20. 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
21. 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
22. 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
23. 嚥下した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
24. 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
25. 火災時は、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

26. 水を消火に使用しないでください。
27. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
28. よくふくをし、5℃~40℃の屋内で貯蔵してください。
29. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
30. 50℃ 以上の温度に暴露しないでください。
31. 施設して子供の手の届かないところに保管してください。
32. 直射日光や水濡れは厳禁です。
33. 積み重ねは3段までとしてください。
34. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も 60℃ 以上の温度にしないでください。
35. 内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
36. 容器はつりあげないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切な釣り具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏重になるおそれがあります。落下事故の危険があります。)
37. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
38. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すや環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

\*上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。  
 ■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート (SDS) をご参照ください。  
 ■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前ににご相談ください。



発がんのおそれの疑い/水生生物に有害/長期継続的影響によって水生生物に毒性

## 日本ペイント株式会社

お客様センター  
 ☎03-3740-1120  
 ☎06-6455-9113  
<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。  
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ●Copyright 2016 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.

■詳しい情報はホームページで  
 日本ペイント 建物 検索

カタログNo.  
 NP-T127  
 UD160302T  
 2016年2月作成